

自主学習会

日本の中世を探究する

(毎月第3金曜 13時30分～)
9月から伊藤俊一著『莊園』(中公新書)の輪読会を行っています。2000年前後から新しい莊園の見方が発表され、この四半世紀の間で研究が深められました。日本中世史で最難問といわれる莊園と一緒に学びませんか。春と秋には見学会もしています。

旅と街道学習会

(毎月第4水曜 13時30分～)
参勤交代や物資の輸送、信仰や物見遊山の旅等、近世には多くの街道が賑わい、今の街道の礎ともなっています。当会はこれら房総や近郊の街道を選び、街道の歴史や役割、地理、民俗等について資料収集や現地を訪ね調査・発表しあいます。現在、利根川筋・多古道・成田道・中山道を対象に多くの仲間と楽しく旅しています。

古文書学習会

(毎月第4金曜 13時30分～)
歴博所蔵の近世の古文書を輪番の数名が解説・発表した後、時代や地域等の背景も考えて討議し、読みと解釈を確定する形の学習会です。今は大森銀山支配下の石見国の庄屋福富家旧蔵の文書(郷宿の運営委託に関わる争いなどの記録)を読んでいます。見学歓迎です。(初学者講座1年終了程度以上の方)

総合展示物学習会

(毎月第4木曜 13時30分～)
歴史好きな私達にとって展示室内は歴史ロマンの詰まった宝庫です。展示物の関連資料を読み解きながら情報交換をし、日本の歴史(生活史)を学習しています。そして学習したことを展示室で確認し、知り得たことは共有している楽しい学習会です。

歴博友の会入会のご案内 —友の会会員の特典—

- ☑国立歴史民俗博物館及びくらしの植物苑に無料で入館(入苑)できます。
- ☑友の会が主催する講座、講演会、見学会等各種のイベントに随時参加できます。
- ☑歴博や友の会の情報を満載した友の会ニュース(隔月刊)が送付されます。
- ☑普通会员には歴博編集の歴史系総合誌「REKIHAKU」が送付されます。

会員の種類	年会費
維持会員	(1口)100,000円
新規普通会员	*8,000円
準会員	3,000円
家族会員(2人分)	5,000円

*2年目以降(継続普通会员)の年会費は7,000円です。

問い合わせ:表記の一般財団法人 歴史民俗博物館振興会「友の会」係までお問い合わせください。

友の会ホームページでも詳細をご案内しています。
(検索画面から“歴博友の会”で検索できます)

日本の民俗を訪ねる

(毎月第2水曜 13時30分～)
「おいしいご飯が食べたい」の一念。これが、煮ていた米を蒸すへと促し、蒸すから炊くへと誘う。歴史を刻む。土器内面に残る焦げ跡を読んで煮方を理解し、甗との出会いから楠の利点に気づかされ、鍔釜と木蓋の重さに工夫の重ねを読み取る。歴史が刻まれている。人々の心模様が時代に映り、心模様を映した影が「民俗」に残る。その「影を慕ひて」…。

国立歴史民俗博物館 友の会



(2025.10発行)

一般財団法人 歴史民俗博物館振興会
〒285-0017 千葉県佐倉市城内町117
国立歴史民俗博物館内

<https://www.rekishin.or.jp>

E-Mail: tomonokai@rekishin.or.jp

電話 043-486-8011

FAX 043-486-8008



自主学習会

友の会会員による自主学習会です。
友の会会員ならどなたでも参加できます。
興味のある学習会に参加しませんか。

近世史読書会

(毎月第1水曜 13時30分～)
『近世史講義—女性の力を問いなおす』(ちくま新書)で「近世の女性たち」を学んでいます。最新研究での新しい知見、異なる視点からの新鮮な気づきが見つかるかもしれません。近世期のジェンダーにご興味がある方は是非一緒にしませんか。

先史・古代学習会

(毎月第2木曜 13時30分～)
当学習会は課題図書を分担してまとめる読書発表と、自由なテーマで発表する自由発表の2部構成で活動しています。読書発表で先史・古代の基本を学び、自由発表では各自の関心を深めています。共に学ぶ仲間を募集しています。

近現代史読書会

(毎月第3火曜 13時30分～)
10月から近代朝鮮の歴史に取り組んでいます。テキストの著者は、「朝鮮に軸足を置いた日本との関係史である」といいます。日本の近代化の過程も振り返りながら、韓国・北朝鮮の政治社会文化について理解を深めて行きたいと思っています。

古代の東国探訪学習会

(毎月第3木曜 13時30分～)
本学習会は2025年4月で設立19年となります。2017年より学習範囲を古代東国を外し時代、地域を自由とし自分の興味ある歴史、人物等を発表し議論しお互いの知識を深めています。又懇親会なども行い気のおけない学習会です。